≪基本目標①≫"住みたいまち"に ⇒ ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の流れを創る

【数値目標】 ◇5年後の転入者 120件 △180人/年

(直近3年平均値) ⇒ △60人/年(2020年)

【講ずべき施策の基本的方向】

- 養父市で生まれ育った若者などへ結うターン(Uターン)を促す取組みや回帰を促すアプローチを市民総動員で行う。
- 農業をはじめ豊かな自然環境を活かし、心豊かな生活を送れる「やぶぐらし」を提案し、移住を促進する。
- 次世代を担う養父市で学び育つ若者にふるさと意識を醸成する。
- 養父の魅力や「やぶぐらし」を多様なチャンネルで情報発信する。

7.15日】	【具体的な施策】	[KPI]			BB 1万 元田	[
【項目】		指標	現状値	目標値 平成31年度	関係課	【主な事業】
(若い世代の結う(U)・合い(I)・Jターンの促進〉	◇多様な若い世代をターゲットとしたU(I・J)ターンの促進 養父市で生まれ育った若者などへ結うターン(Uターン)を促す取組みや回帰を促すアプローチを市民総動員で行う。	支援策を利用 したU(I・J) ターン者	5件 (H26年度実績)	50件 (累計)	やぶぐらし課 人権・協働課 建築住宅課	- 結婚結うターン(Uターン)の取組み (養父の婿さん応援プロジェクト: 市をあげてお婿さんを歓迎=お祝い金or引っ越し費用等)(新規) ・孫ターンを推進する取組(新規) ・やぶ暮らし住宅支援事業(拡充)
	◇若者を対象としたUターンの勧誘 都市部の大学・専門学校へ進学した学生等を対象とした就職説明会・面接会、成人式などあらゆるシーンにおいて企業情報発信の強化や「やぶぐらし」の魅力を発信することにより、Uターンに繋がるアプローチを強化する。	1年間でアプローチした人数	300人 (H26年度実績)	2000人 (累計)	商工振興課 社会教育課 やぶぐらし課	・実践型地域雇用創造事業 (農業・食品製造・観光を重点分野として、雇用創造:事業者向けセミナー、求職者向けセミナー、マッチング) ・企業就職説明会(但馬地域合同企業説明会・面接会を共同開催)、 事業所ガイドブック作成事業(事業所ガイドブックを作成し、主な市内企業を紹介) ・成人式とあわせたUターンイベントの実施〈新規〉 ・ゆるやかなふるさと回帰運動の展開(やっぷーラインキャラクター、年賀状はがきの活用)〈新規〉
	◇やぶぐらし体験による定住促進 移住・定住希望者が空き古民家や空き農地を活用した営農 体験など田舎暮らしを体験することにより、田舎の魅力を知 り、円滑にやぶの暮らしへの移行できる仕組みを構築する。	お試し住宅利 用者数	_	20組 (累計)	やぶぐらし課農林振興課	・ちょこっと暮らし住宅(お試し住宅)支援事業〈先行型〉 ・シルバー人材センターによる古民家活用田舎暮らし体験事業
	◇U・I・Jターン者の起業・就業の促進 古民家、空き民宿など活用したI・Jターンによる起業やマンパワー不足が課題となっている介護・建設・農業・林業分野でのOJTによる就業を促進する。特に養父市に住む若い女性に対して雇用に繋がる資格取得等スキルアップを支援し、女性が活躍できる環境をつくることにより、女性のU・I・Jターンを促進する。	U·I·Jターン者 のOJT就業・ 起業者数	_	25人 (累計)	やぶぐらし課 商工振興課 農林振興課 介護保険課	- 古民家等空き施設再生移住促進事業 (民間事業者等が1-Jターン者等を募り、かつ空き家等を活用した起業の実施を支援)(先行型) - 移住定住者のための雇用創出事業(IJUターン者をターゲットに介護人材及び農林業者の育成)(新規) - 若手職人育成事業 - 起業支援事業(拡充) - 女性のスキルアップ(資格取得)を支援する取組(新規) - 女性の公営住宅優先入居の取組(新規)
	◇移住・定住希望者のワンストップ窓口(住まい・しごと)の機能強化と人材の育成 移住希望者のニーズに応じた空き家物件の紹介や地域との連絡調整、都市部での相談会などを一元的に行う機能を担うとともに、住まいと仕事までコーディネートできる専門相談員を育成する。	移住·定住相 談件数	のべ350件 (H26年度実績)	のべ2,000件 (累計)	やぶぐらし課	「やぶぐらし支援センター(仮称)」を開設〈新規〉・移住定住専門相談員の育成〈拡充〉・やぶぐらしプロモーション事業
〈次世代へのふるさと意識の醸成〉	◇ふるさと教育の推進 小・中学校において豊かな自然や地域に伝わる伝統文化・ 産業など地域の魅力に触れる機会を多くすることにより、生 まれ育った地域へ誇りを持つことができるようにする。	高校生が地域 へ愛着がある と回答した割 合	55%	65%	学校教育課	・ふるさと学習・環境学習推進事業 ・やぶっ子夢プラン事業
	◇ふるさと伝承体験学習の推進【重複】 お年寄りから昔ながらの伝統・遊び・料理等を伝承する機会を増やすことにより、生まれ育った地域や人への愛着を醸成する。		_	30回(累計)	こども育成課 社会教育課 公民館	 放課後ふるさと教育事業〈上乗せ〉 放課後子ども教室事業

【項目】	【具体的な施策】	[KPI]				
		指標	現状値	目標値 平成31年度	関係課	【主な事業】
	◇市内高等学校等との積極的連携	但馬農業高 校、第1学院 高等学校、看 護専門学校か らの地元就職 率	58% (H26年度実績)	65%	やぶぐらし課 商工振興課 農林振興課 保険医療課	・八鹿高校、但馬農業高校、第一学院高等学校から地元就職に繋がる取組み〈新規〉
	本市に存する高等学校や看護専門学校で学んだ人材が地元に就業、定着に繋がる取組みを行う。					・八鹿病院看護専門学校からの地元就職に繋がる取組み(奨学金の利子相当分を補助する等の支援)(新規)
〈住まい環境の整備〉	◇住宅環境の整備	- 市が関与して 分譲する区画 数	_	10区画 (累計)	土地利用未来課 建築住宅課	・上箇分譲地整備事業
	賃貸住宅の安定供給とともに、遊休地を活用した宅地造成 を実施するなど住まいの環境を整備する。					・養父市住宅リフォーム支援事業(住宅のリフォーム工事を行う者に対して補助金を交付)
	◇空き家を活用した移住・定住の推進		成約件数7件 (H26年度実績)	50件 (累計)	やぶぐらし課 農林振興課	・空き家バンク事業(物件情報の収集と発信)
	地域コミュニティの希薄化や地域活力の低下を招く、空き家	空き家バンク				・就農応援活動事業(Iターン者等への就農支援)〈先行型〉
	解消に向けたストックの有効活用を図る。また、農地と空家 を組み合わせるなどやぶぐらしを象徴する取組みを推進す	登録数				・やぶの空き家活用支援事業(養父市に居住しようとするU・Iターン夫婦等に対し空き家の改修工事を支援) 〈先行型〉【重複】
	a .					・農地付空家を紹介する取組み〈新規〉
〈戦略的な情報発信〉	◇市の情報発信体制の充実(情報の一元化と多様な情報発信 チャンネルの活用)	養父市HP訪 問者数	51.5万回 (H26年度実績)	100万回	やぶぐらし課秘書広報課交流・観光課	・受け手の立場に立った情報発信ツールの充実〈新規〉
						・市の情報発信体制の構築(情報戦略室の設置)〈新規〉
						・国家戦略特区の指定、ハチ高原の活用などパブリシティ効果の高い情報発信の取組み〈新規〉
						・養父百科事典の作成(養父市の「暮らし」「ひと」「名勝」「歴史・文化」「グルメ」「産業」などを一元集約)〈新規〉
						・地域で何かに秀でた人を養父の仙人(カントリーマイスター)として登録し、地域づくりに貢献してもらう取組み〈新規〉
	◇芸術文化や伝統芸能を通じた魅力の発信	芸術文化・伝	6000人 (H26年度実績)	8000人	大屋地域局 養父地域局 関宮地域局	・木彫フォークアートおおや事業
	イベント等の開催により養父市で育った芸術文化や伝統芸 能を市内・外に積極的に発信し、交流人口の拡大並びにふ	統芸能に関す				・ビバホールチェロコンクール推進事業
	能を叩りていた情極的に光信し、文派人口の拡入並びにふるさと意識の醸成を図る。					・葛畑農村歌舞伎伝承会補助事業
	◇戦略的な観光プロモーションの充実	ーやぶ市観光協 会HP訪問者 数	12万回 (H26年度実績)		交流・観光課 やぶぐらし課	・やぶぐらしプロモーション事業(「やぶぐらし」紹介パンフレットの作成)〈上乗せ〉
	U·I·Jターンの特に若年層や子育て世代を対象に、養父の魅力・価値を一層アピールするするとともに、養父の「ひと」					・観光宣伝事業 (観光イベント参加、観光PR、広報誌への掲載業務、ラッピングバス事業、観光案内所における人的観光インフォメーションなど)
	や「くらし」を盛り込むことにより、単なる観光から移住に興味が湧くようなプロモーションに努める。					- やぶぐらしの要素を盛り込んだモニターツアーの実施〈拡充〉